

170	

わるくちを いわれて きぶんは 最^{さい}あくだ。

171	

とどう府^ふけんのかずは ぜんぶで よんじゅうなな。

172	

むこうぎしまで およ^{およ}ぼう。

173	

おひるの ほうそうを きく。

174	

こううんが 続^{つづ}いて しあわせだ。

174	173	172	171	170
幸	放	岸	県	悪
幸運 <small>つう</small> が <small>つづ</small> 続いて幸 <small>さい</small> せた。	お昼 <small>ひる</small> の放送 <small>ほうそう</small> を聞 <small>き</small> く。	向 <small>むか</small> こう岸 <small>き</small> まで泳 <small>およ</small> ごう。	都道 <small>とどう</small> 府 <small>ふ</small> 県 <small>けん</small> の数 <small>かず</small> は全 <small>ぜん</small> 部 <small>ぶ</small> で四十七。	悪口 <small>あくぐち</small> を言 <small>い</small> われて気 <small>き</small> 分 <small>ぶん</small> は最 <small>さい</small> 悪 <small>あく</small> だ。

たしかめ

36

名 前

175

かなしいひ劇げきのものがたり。

176

いろいろなしょうひんをあきなうしょうてん街がい。

177

おじいさんはしょうわうまれだ。

178

連絡れんらくちようにあすのよていをかく。

179

がつきゅうぶんこのほんをよむ。

179	178	177	176	175
庫	帳	昭	商	悲
学級文庫の本を読む。	連絡帳 <small>れんらく</small> に明日の予定を書く。	おじいさんは昭和生まれだ。	色々な商品を商う商店街 <small>がたい</small> 。	悲しい悲劇 <small>げき</small> の物語。

たしかめ

37

名前

[illegible]

さんかいてんジャンプのあと、みごとにちやくち。

[illegible]

なにをするにも あんぜんだった。

[illegible]

182
ふくのかみがこうふくをはこんでくる。

[illegible]

183
ひもを
ひとしい
ながさに
きる。

[illegible]

ねらいをさだめ、あんていした
どうさでゆみを射る。

184	183	182	181	180
定	等	福	第	転
ねらいを定め、安定した動作で弓を射る。	ひもを等しい長さに切る。	福の神が幸福を運んでくる。	何をするにも安全第一だ。	三回転ジャンプの後、見事に着地。

たしかめ

38

名前

[illegible]

みや城ぎけんはとうほくちほうにある。

[illegible]

やどやには、しゆく泊きやくが**いっばい**だ。

[illegible]

犯にんのあとをおい、つい跡する。

188	188
ひるやすみは	
こうていや	
なかにわで	
あそんでいる。	

ひるやすみはこうていやなかにわであそんでいる。

[illegible]

たびに
て、
おおき
な
り
よ
か
ん
に
泊
ま
っ
た。

189	188	187	186	185
旅	庭	追	宿	宮
旅に出、大きな旅館に泊まった。	昼休みは校庭や中庭で遊んでいる。	犯人の後を追、追跡する。	宿屋には、宿泊客がいっぱいだ。	宮城県は東北地方にある。

たしかめ

39

名前

[illegible]

ためいきの
でる
ほどの
うつくしさ。

[illegible]

かい段をだんのぼってにかいのきようしつへいく。

[illegible]

おもい いわ、みつ かさねて じゅう量^{りょう} いっトン。

[illegible]

うつくしい
はなばたけが
ひろがっている。

[illegible]

過ぎさった す きよねんのことをおもいだす。

194	193	192	191	190
去	畑	重	階	息
過ぎ去った去年のことを思い出す。	美しい花畑が広がっている。	重い岩、三つ重ねて重量一トン。	階段を上って二階の教室へ行く。	ため息の出るほどの美しさ。

たしかめ

40

名前

195	

おれいのことは、「ありがとう」。

196	

えきでとも達^{たち}とまちあわせる。

197	

いっ^いぱんはろくじゅうびょうです。

198	

やまいはきから。げんきでびょうきしらずだ。

199	

ふえがなったらあつまりましょう。

200	

すいめんにさざなみがたつ。

200	199	198	197	196	195
波	笛	病	秒	待	礼
水面にさざ波が立つ。	笛が鳴ったら集まりましょう。	病は気から。元気で病気知らずだ。	一分は六十秒です。	駅で友達と待ち合わせる。 <small>だち</small>	お礼の言葉、「ありがとう」。